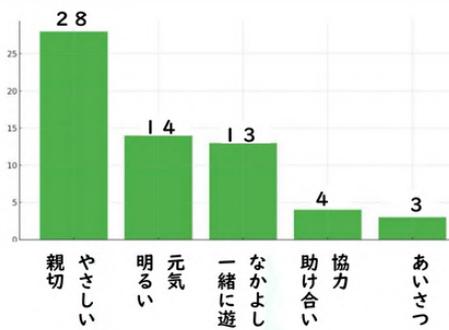


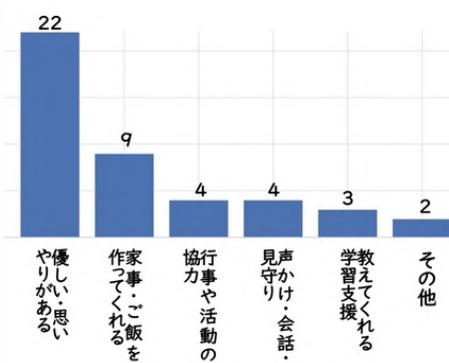


やさしさ♡いっぱいあふれる諸塚小学校

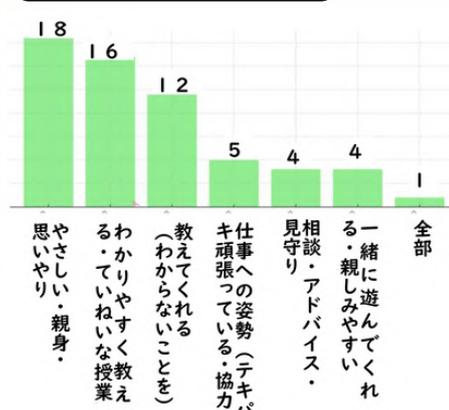
諸塚小の子どもの良いところ



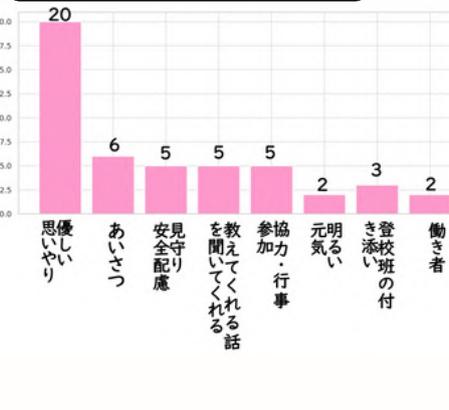
諸塚小の保護者の方の良いところ



諸塚小の先生方の良いところ



諸塚小の地域の方々の良いところ



子ども達に「児童自身」「保護者」「先生方」「地域の方々」それぞれの良いところについてのアンケートを実施しました。

その結果、共通して多く挙げたのが、「やさしい」「協力的」といった温かい言葉でした。

子ども達の目を通して、それぞれの立場の大人や友達が信頼と安心の存在として映っていることに、大きな喜びを感じています。これは、家庭・学校・地域が日々子ども達に寄り添い支え合っている証とも言えるでしょう。

日常のふとした関わりが子ども達の記憶にしっかりと刻まれており、私たち大人が意識せずとも、子ども達は周囲の言動をよく見て、心で感じ取っているのだと改めて気付かされました。

こうしたやさしさや協力の輪が、子ども達自身の行動にも表れており、学校の中では互いを大切にする姿が多く見られます。今後も「自分も誰かの力になりたい」と思える子どもを育てていきたいと考えています。



諸塚村の未来を考える学び～5・6年生～

5・6年生の児童が総合的な学習の時間で、「自分たちの村の未来をどうつくっていくか」というテーマに取り組んでいます。子ども達は、ホームページなどで村について調べ、「人口増加」「知名度上昇」「昔の道具」「伝統文化」の4つの班に分かれ、それぞれの課題解決に向け、自分達にできることを真剣に考え始めました。

先日、学校運営協議会の場で委員の方々に自分達の考えを発表し、温かく具体的な助言や励ましの言葉をいただいたことも、今後の活動に向けた大きな一歩となったようです。



この学びは、村の未来にとっても大変意義のあるものです。自分達の住む地域に目を向け、未来を思い描き、行動していく力を育む貴重な機会です。これから、子ども達はさらに地域の方々と関わりながら、実際の行動へと歩を進めていきます。その際には、ご家庭や地域の皆さまにご協力をお願いすることもあるかと思います。その際には、どうか温かく見守り、力を貸していただけますと幸いです。これからの子ども達の主体的な活動と、諸塚村の未来に向けた一歩一歩に、どうぞご期待ください。

ふるさとの恵みを味わう「諸塚学校給食の日」



毎月一度「諸塚学校給食の日」があり、6月は「麦ごはん・牛乳・ひむか牛丼・千切り大根の白和え」でした。ひむか牛丼には、諸塚産の玉ねぎ・しいたけ、県産ピーマンが、白和えには宮崎県産の千切り大根が使われています。米も諸塚産の美味しいお米です。ふるさとの食材を味わい、地元の恵みに気付くことができる貴重な機会となっています。食を通してふるさとへの理解と愛着が深まっていくことと思います。

教育実習を通して

～子ども達のキャリアプランニング～

本校の卒業生が教育実習生として3週間、実習を行いました。「身近な先輩が夢に向かってがんばっている姿」に触れ、夢を持ち、その実現に向けて努力する姿は、言葉以上に子ども達の心に届いたようです。子ども達にとっても夢や目標について考える貴重な学びの場にもなりました。

